

第2 森林の整備と林業の振興

1 森林の整備

森林は、国土保全、水源かん養、保健、文化、教育的利用の場の提供機能に加え、地球温暖化防止、生物多様性の保全など多面的機能の持続性発揮がますます期待され、健全な森林の維持管理が求められています。

今後とも、長期的視点に立ち、健全で多様な森林の整備・保全や林業再生に向けた具体的な施策の推進を要望します。

- (1) 森林整備保全事業計画の着実な推進
- (2) 造林・保育・間伐等適切な森林整備・管理
- (3) 未来につなぐ森づくり推進事業の継続・拡充

2 林道網の整備

多面的機能を有する森林の適切な整備や安定的な林業経営を確立するため林道の整備を要望します。

3 林業の担い手の確保と育成

森林所有者や林業従事者の高齢化と後継者不足などにより、林業が衰退し、森林の荒廃を招き、国土の保全、水資源のかん養、環境の保全に深刻な影響がでています。

将来にわたり、森林を適切に整備し、多面的な機能を維持するためには、次世代を担う優れた知識と技術を有する人材の確保・育成が必要です。

そこで、将来の林業経営者や林業の現場での責任者として、高度な専門知識と技術を有した人材の育成に向け、北海道において、空知に専門教育機関を早期に設立されるよう要望します。

林業大学校の誘致について

北海道において設立が検討されております「林業大学校」についてですが、本市には道内唯一の林業の研究機関である地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場や近隣の岩見沢市には森林科学科を有する北海道立岩見沢農業高等学校もあります。これら研究・教育機関との連携が可能であり、また、美唄市は札幌市と旭川市の中間に位置する交通至便の地域でありますことから、この美唄市が、不足する林業の担い手を育成する教育機関である「林業大学校」を設置するには最適地と考えられるところであります。

また、美唄市は少子高齢化に伴う人口減少や専修大学北海道短期大学の撤退などにより地域の疲弊化が著しいことから、本大学校の誘致は、地域活性化の起爆剤となりうる可能性を秘めていると考えられるところでもあります。

このことから、本市への「林業大学校」の誘致について、市において積極的な誘致活動を展開されますよう要望いたします。

平成29年6月13日

美唄市長 高橋 幹夫 様

美唄商工会議所

会頭 古谷野 環



林業大学校の誘致について

北海道において設立が検討されております「林業大学校」についてであります。本市には道内唯一の林業の研究機関である地方独立行政法人 北海道立総合研究機構森林研究本部 林業試験場や近隣の岩見沢市には森林科学科を有する北海道立岩見沢農業高等学校もあります。

これら研究・教育機関との連携が可能であり、また、美唄市は札幌市と旭川市の間に位置する交通至便の地域でありますことから、この美唄市が、不足する林業の担い手を育成する教育機関である「林業大学校」を設置するには最適地と考えられるところであります。

また、森林・林業に関する技術及び知識の普及が進むことにより市有林などの保全や地域緑化が向上することから、みどり豊かな景観づくりへと繋ぐところであります。

このことから、本市への「林業大学校」の誘致について、市において積極的な誘致活動を展開されますよう要望いたします。

平成 29 年 6 月 13 日

美唄市長 高橋 幹夫 様

美唄森と緑の会
会 長 川 西 智 子



林業に関わる「大学校」・「研修施設」設置状況

(1) 学校教育法に基づき専修学校（文部科学省資料）

設置府県	名称	開設	設置場所自治体	学科・コース等	修業期間	定員 (1学年)	入試	費用	給付制度	生活支援	入学資格	備考
1 静岡県	静岡県立農林大学校	林業：昭和45年 農業：明治33年	磐田市	養成部：林業学科	2年間	10名				1年次全寮制	高卒程度	明治33年農業部門を創設、昭和45年「農業講習所」、「林業講習所」創設、昭和49年「県立農業短期大学」、「県立林業短期大学」に改称、昭和55年「県立農林短期大学」創設、平成11年「県立農林大学校」に再編
2 長野県	長野県林業大学校	昭和54年	木曽町	林業専門課程林学科	2年間	20名	一般、推薦	授業料 118,800円（年額）	授業料 118,800円（年額）	全寮制	高卒程度	平成12年専修学校化別に「長野県林業総合センター」（長野県塩尻市）で、林業士養成事業等を実施
3 群馬県	群馬県立農林大学校		高崎市	農林業ビジネス科・森林コース	2年間	20名		授業料 118,800円（年額）	授業料 118,800円（年額）	1年次全寮制		「農林業ビジネス科森林コース」
4 岐阜県	岐阜県立森林文化アカデミー		美濃市		2年間	40名				寮なし		
5 山形県	山形県立農林大学校	林業：平成28年 農業：昭和30年	新庄市	養成部：林業経営学科	2年間	10名程度		授業料 118,800円（年額）	授業料 118,800円（年額）	全寮制		昭和30年設置の「農業大学校」に平成28年から「林業経営学科」を新設し「農林業大学校」に改称
6 兵庫県	兵庫県立森林大学校	平成29年	兵庫県	専攻科（2年次高度化コース選択可能）	2年間	20名	一般、推薦	授業料 118,800円（年額）	国給付金：最大150万円/年 奨学金制度	寮なし	高卒程度、40歳以下	専攻科小学校進路物を利用（内給大賞化）専攻科二階授業、研修科二階授業、研修員および専攻科生が利用可能。校舎新築提供、通学支援、下宿支援

(2) その他の県立教育機関

7 島根県	島根県立農林大学校	昭和54年	飯南町	林業科・森林アカデミー・森林アカデミー・森林アカデミー	2年間	10名	学校長推薦、一般、地域推薦、自己推薦	授業料 118,800円（年額）	奨学金制度、授業料減免制度	男女学生兼あり		昭和39年農林総合研修所（林業含む）新設、昭和54年「農業大学校」、平成24年「農林大学校」に改称
8 宮崎県	みやざき林業青年アカデミー				1年間 (1200時間以上)	10名		授業料 無料	給付金制度あり		高卒、18歳以上	農林業技術センター内で研修実施
9 石川県	金沢林業大学校	平成21年	金沢市		2年間 (年40日程)	10名程度					18歳以上65歳未満	
10 京都府	京都府立林業大学校	平成24年	京丹波町	条例設置	2年間	20名				寮なし	高卒新卒者	京丹波和知支所施設、森林技術センターに併設
11 秋田県	秋田林業大学校	平成27年	秋田市	研修機関	2年間	18名	一般、推薦	授業料 118,800円（年額）	国給付金：最大150万円/年 奨学金制度		高卒以上65歳未満	県立林業研究研修センターに併設
12 高知県	高知県立林業学校	平成27年	香美市	条例設置	1年間	20名	一般、推薦	研修料128,300円（年額）	支援給付165万円（最大）	寮なし	18歳以上	基礎課程（1年間）終了後、専攻課程（1年間、30名）のコースがある。 高知県立森林総合センター内に設置
13 福井県	ふくい林業カレッジ	平成28年			1年間							総合グリーンセンターに併設（林業試験場が所在）
14 岩手県	いわて林業アカデミー	平成29年	矢巾町		1年間 (1500時間程度)	15名		授業料 118,800円（年額）	国給付金：最大150万円/年 奨学金制度		高卒、65歳以上30歳未満	岩手県林業技術センターに併設
15 和歌山県	和歌山県農林大学校	平成29年	林業：上富田町 農業：かつらぎ町	農業のみ専修学校 林業経営コース	1年間	10名	前期（10月）、後期（1月）		支援給付137万円（最大）		高卒以上	平成29年に「農業大学校」から「農林大学校」へ変更

(3) 団体運営の研修機関

16 公益財団法人森ネットおおいた	おおいた林業アカデミー（大分県林業研修所）	昭和56年	湯布院町		1年間	10名		受講料 無料	国給付金：最大150万円/年 奨学金制度			
17 公益財団法人徳島森林づくり推進機構	とくしま林業アカデミー	平成28年	徳島市	研修機関	1年間			研修料 無料	国給付金：最大150万円/年 奨学金制度		高卒程度、18歳以上	費用：無料

森林・林業に関する科目・コース設置校一覧表（高等学校）

平成26年4月現在

都道府県	学校名	郵便番号	所在地	電話番号 FAX番号	該当学科等	備考
北海道	旭川農業	079-8431	旭川市永山町14-153	0166-48-2887 0166-48-1360	森林科学科	
	岩見沢農業	068-0818	岩見沢市並木町1-5	0126-22-0130 0126-22-5362	森林科学科	
	帯広農業	080-0834	帯広市稲田町西1線9	0155-48-3051 0155-48-3052	森林科学科	
	五所川原農林	037-0093	五所川原市一野坪字朝日田12-37	0173-37-2121 0173-37-2123	森林科学科	
青森	盛岡農業	020-0173	岩手郡滝沢村滝沢字砂込1463	019-688-4211 019-688-4215	環境科学科	
	久慈東	028-0021	久慈市門前36-10	0194-53-4489 0194-53-2540	総合学科（環境緑化系列 森林生態科目群）	
宮城	柴田農林	989-1233	柴田郡大河原町字上川原7-2	0224-53-1049 0224-53-1050	森林環境科（2,3年生） 環境技術系（1年生）	
	大曲農業	014-0054	大仙市大曲金谷町26-9	0187-63-2257 0187-62-3434	農業科学科（環境緑地系）	
秋田	秋田北鷹	018-3314	北秋田市伊勢町1-1	0186-62-0760 0186-62-1281	緑地環境科 （森林環境コース）	
	村山産業	995-0011	村山市榎岡北町1-3-1	0237-55-2537 0237-53-2994	環境カレッジ科（2,3年生） 農業環境科（1年生）	
福島	会津農林	969-6546	河沼郡会津坂下町曲田1391	0242-83-4115 0242-83-0269	森林環境科	
	田島	967-0004	南会津郡南会津町田島字田部原260	0241-62-0066 0241-62-2909	普通科（環境科学コース）	
茨城	大子清流	319-3526	久慈郡大子町大子224	0295-72-0079 0295-72-1268	森林科学科	
	鹿沼南	322-0524	鹿沼市みなみ町8-73	0289-75-2231 0289-75-1420	環境緑地科（林業コース） 普通科	
群馬	利根実業	378-0014	沼田市栄町165-2	0278-23-1131 0278-22-5136	グリーンライフ科 （森林科学コース）	
	勢多農林	371-0017	前橋市日吉町2-25-1	027-231-2403 027-233-2191	グリーンライフ科 （グリーンライフコース）	
埼玉	秩父農工科学	368-0005	秩父市大野原2000	0494-22-3017 0494-21-1040	森林科学科	
	君津青葉	292-0454	君津市青柳48	0439-27-2351 0439-27-2146	総合学科 （食と環境系列・環境系）	
東京	青梅総合	198-0041	青梅市勝沼1-60-1	0428-22-7604 0428-22-7624	総合学科（環境・資源系 列）	
	大島	100-0101	大島町元町字八重の水127	04992-2-1431 04992-2-2461	併合課（農林）	
神奈川	吉田島総合	258-0021	足柄上郡開成町吉田島281	0465-82-0151 0465-82-7684	総合学科（地域環境系列）	
	加茂農林	959-1325	加茂市神明町2-15-5	0256-52-3115 0256-53-2672	環境緑地科（緑地工学コー ス）	
新潟	高田農業	943-0836	上越市東城町1-4-41	025-524-2260 025-526-5852	生物資源科 （森林資源コース）	
	村上桜ヶ丘	958-0856	村上市飯野桜ヶ丘10-25	0254-52-5201 0254-53-6810	総合学科（農業森林系列）	
福井	福井農林	910-0832	福井市新保町49-1	0776-54-5187 0776-54-5188	環境工学科（環境緑化コー ス）	
	農林	400-0117	甲斐市西八幡4533	055-276-2611 055-279-1413	森林科学科	
長野	臼田	384-0301	佐久市臼田751	0267-82-2035 0267-81-1077	グリーンライフ科	
	上伊那農業	399-4594	上伊那郡南箕輪村9110	0265-72-5281 0265-76-8942	緑地創造科	
	木曽青峰	397-8571	木曽郡木曽町福島1827-2	0264-22-2119 0264-21-1056	森林環境科	
	下高井農林	389-2301	下高井郡木島平村穂高2975	0269-82-3115 0269-82-1813	グリーンデザイン科	
岐阜	岐阜農林	501-0431	本巣郡北方町北方150	058-324-1145 058-323-1650	森林科学科	
	郡上	501-4221	郡上市八幡町小野970-1	0575-66-3178 0575-65-2078	森林科学科	
	加茂農林	505-0027	美濃加茂市本郷町3-3-13	0574-26-1238 0574-28-2366	森林科学科（1年） 林業工学科（2,3年）	
	恵那農業	509-7201	恵那市大井町2625-17	0573-26-1251 0573-26-1252	環境科学科	
	飛騨高山	506-0058	高山市山田町711	0577-33-1060 0577-32-8994	環境科学科	
静岡	天竜	431-3314	浜松市天竜区二俣町二俣601	053-925-3139 053-925-7422	森林科	
	安城農林	446-0066	安城市池浦町茶筌木1	0566-76-6144 0566-74-0443	森林環境科	
愛知	田口	441-2302	北設楽郡設楽町清崎字林ノ後5-2	0536-62-0575 0536-62-1534	林業科	
	猿投農林	470-0372	豊田市井上町12-179	0565-45-0621 0565-46-1985	林産工芸科	

森林・林業に関する科目・コース設置校一覧表（高等学校）

平成26年4月現在

都道府県	学校名	郵便番号	所在地	電話番号 FAX番号	該当学科等	備考
三重	久居農林	514-1136	津市久居東鷹跡町105	059-255-2013 059-256-7174	環境情報科（環境保全コース）	
滋賀	甲南	520-3301	甲賀市甲南町寺庄427	0748-86-4145 0748-86-4983	総合学科（生物と環境系列）	
京都	北桑田	601-0534	京都市右京区京北下弓削町沢の奥	0771-54-0022 0771-54-0310	森林リサーチ科	
兵庫	山崎	671-2570	宍粟市山崎町加生340	0790-62-1730 0790-62-5849	森林環境科学科	
奈良	吉野	639-3113	吉野郡吉野町飯貝680	0746-32-5161 0746-32-5025	森林科学科	
和歌山	熊野	649-2195	西牟婁郡上富田町朝来670	0739-47-1004 0739-47-4200	総合学科（グリーンマスター系列）	
鳥取	智頭農林	689-1402	八頭郡智頭町智頭711-1	0858-75-0655 0858-75-0654	森林科学科	
	倉吉農業	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341 0858-28-1342	環境科	
島根	松江農林	690-8507	松江市乃木富富町51	0852-21-6772 0852-21-6796	総合学科（地域クリエイト系列）	
	出雲農林	693-0046	出雲市下横町950	0853-28-0321 0853-28-0355	環境科学科	
岡山	勝間田	709-4316	勝田郡勝央町勝間田47	0868-38-3168 0868-38-3167	グリーン環境科	
	新見（北校地）	718-0011	新見市新見1994	0867-72-0645 0867-72-2771	生物生産科	
山口	山口農業	754-0001	山口市小郡上郷980-1	083-972-0950 083-972-0801	環境科学科（森林資源コース）	
徳島	三好	778-0020	三好市池田町州津大深田720	0883-72-0805 0883-72-5019	環境資源科	
	城西	770-0046	徳島市鮎喰町2-1	088-631-5138 086-633-0453	植物活用科	
愛媛	上浮穴	791-1206	上浮穴郡久万高原町上野尻甲486	0892-21-1205 0892-21-2050	森林環境科	
	伊予農業	799-3111	伊予市下吾川1433	089-982-1225 089-983-4177	特用林産科	
高知	高知農業	783-0024	南国市東崎957-1	088-863-3155 088-863-6209	森林総合科	
	幡多農業	787-0010	四万十市古津賀3711	0880-34-2166 0880-35-6335	グリーン環境科	
佐賀	伊万里農林	848-0035	伊万里市二里町大里乙1414	0955-23-4138 0955-20-1002	森林工学科	
長崎	諫早農業	854-0043	諫早市立石町1003	0957-22-0050 0957-22-2825	環境創造科	
熊本	阿蘇中央	869-2612	阿蘇市一の宮町宮地4131	0967-22-0045 0967-22-5161	グリーン環境科	
	矢部	861-3515	上益城郡山都町城平954	0967-72-0024 0967-73-1030	緑科学科	
	八代農業泉分校	869-4401	八代市泉町柿迫3636	0965-67-2012 0965-67-3503	グリーンライフ科	
	芦北	869-5431	葦北郡芦北町乙千屋20-2	0966-82-2034 0966-82-5606	林業科	
	南稜	868-0422	球磨郡あさぎり町上北310	0966-45-1131 0966-45-0466	環境工学科	
大分	日田林工	877-0083	日田市吹上町30	0973-22-5171 0973-22-5173	林業科	
宮崎	日南振徳	889-2532	日南市大字板敷410番地	0987-25-1107 0987-25-1214	地域農業科	
	門川高校	889-0611	東臼杵郡門川町門川尾末2680	0982-63-1336 0982-63-5194	総合学科（フォレスト系列）	
	高鍋農業	884-0006	児湯郡高鍋町大字上江1339-2	0983-23-0002 0983-23-5542	農業科	
鹿児島	伊佐農林	895-2506	伊佐市大口原田574	0995-22-1445 0995-22-1446	農林技術科	
	鹿屋農業	893-0014	鹿屋市寿2-17-5	0994-42-5191 0994-42-4900	緑地工学科	
沖縄	北部農林	905-0006	名護市宇茂佐13	0980-52-2634 0980-54-1664	林業緑地科	
計	72校					

森林・林業に関する学科・科目設置校一覧表（大学）

平成26年4月現在

地 区	都道府県	校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号 FAX番号	該当学科等	備考
北海道	北海道	北海道大学	060-8589	札幌市北区北9条西9丁目	011-706-2506	農学部	
					011-706-4893	森林科学科	
東北	岩手	岩手大学	020-8550	盛岡市上田3-18-8	019-621-6103	農学部	
					019-621-6107	共生環境課程	
	秋田	秋田県立大学	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	018-872-1500	生物資源科学部	
					018-872-1670	生物環境科学科	
	山形	山形大学	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	0235-28-2805	農学部	
					0235-28-2812	食料生命環境学科	
関東	茨城	筑波大学	305-8572	つくば市天王台1-1-1	029-853-2545	生命環境学群	
					029-853-6205	生物資源学環	
	栃木	宇都宮大学	321-8505	宇都宮市峰町350	028-649-5544	農学部	
					028-649-5545	森林科学科	
	東京	東京大学	113-8657	文京区弥生1-1-1	03-5841-5205	農学部	
					03-5841-7553	森林環境資源科学専修	
		東京農工大学	183-8509	府中市幸町3-5-8	042-367-5754	農学部	
					042-364-7812	地域生態システム学科・ 環境資源科学科	
	東京農業大学	156-8502	世田谷区桜丘1-1-1	03-5477-2266	地域環境科学部	私立	
				03-5477-2617	森林総合科学科		
	神奈川	日本大学	252-0880	藤沢市亀井野1866	0466-84-3800	生物資源科学部	私立
						森林資源科学科	
	新潟	新潟大学	950-2181	新潟市西区五十嵐二の町8050	025-262-6603	農学部	
					025-262-6854	生産環境科学科	
中部	長野	信州大学	399-4598	上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1300	農学部	
					0265-72-5259	森林科学科	
	静岡	静岡大学	422-8529	静岡市駿河区大谷836	054-237-1111	農学部	
					054-237-3028	環境森林科学科	
	愛知	名古屋大学	464-8601	名古屋市千種区不老町	052-789-5111	農学部	
						生物環境科学科	
	岐阜	岐阜大学	501-1193	岐阜市柳戸1-1	058-293-2838	応用生物科学部	
					058-293-2841	生産環境科学課程	
	三重	三重大学	514-8507	津市栗真町屋町1577	059-232-1211	生物資源学部	
					059-231-9591	共生環境学科	
近畿	京都	京都大学	606-8502	京都市左京区北白川追分町	075-753-6420	農学部	
					075-753-6451	森林科学科	
		京都府立大学	606-8522	京都市左京区下鴨半木町1	075-703-5681	生命環境学部	
					075-703-5680	森林科学科	
中国	岡山	岡山大学	700-8530	岡山市北区津島中1-1-1	086-251-8286	農学部	
					086-251-8388	環境生態学コース	
	鳥取	鳥取大学	680-8553	鳥取市湖山町南4-101	0857-31-5343	農学部	
					0857-31-5347	生物資源環境学科	
		鳥取環境大学	689-1111	鳥取市若葉台北1-1-1	0857-38-6700	環境学部	
	環境学科						
	島根	島根大学	690-8504	松江市西川津町1060	0852-32-6100	生物資源科学部	
					0852-32-6499	農林生産学科 農林生態科学教育コース 森林学教育コース	
四国	愛媛	愛媛大学	790-8566	松山市梅味3-5-7	089-946-9867	農学部	
					089-946-9867	生物資源学科 大学院農学研究科 森林環境管理リカレント コース	
	高知	高知大学	783-8502	南国市物部乙200	088-864-5114	農学部	
					088-864-5200	農学科 森林科学コース	
九州	福岡	九州大学	812-8581	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-2802	農学部	
					092-642-2804	生物資源環境学科	
	宮崎	宮崎大学	889-2192	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-2875	農学部	
					0985-58-2884	森林緑地環境科学科	
	鹿児島	鹿児島大学	890-0065	鹿児島市郡元1-21-24	099-285-8515	農学部	
					099-285-8525	生物環境学科	
	沖縄	琉球大学	903-0213	中頭郡西原町字千原1	098-895-8733	農学部	
					098-895-8734	亜熱帯地域農学科・ 亜熱帯森林環境科学科	
合 計		28校					

森林・林業に関する学科・科目設置校一覧表（大学校）

平成26年4月現在

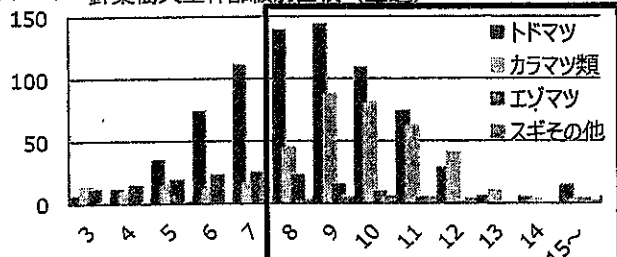
地 区	都道府県	学校名	郵便番号	所 在 地	電話番号 FAX番号	該当学科等	備考				
関東	群馬	群馬県立農林大学校	370-3105	高崎市箕郷町西明屋1005	027-371-3244	農林業ビジネス学科（森林・環境コース）					
					027-371-6968						
中部	長野	長野県林業大学校	397-0002	木曾郡木曽町新開4385-1	0264-23-2321	林学科					
					0264-21-1058						
	岐阜	岐阜県立森林文化アカデミー	501-3714	美濃市曾代88	0575-35-2525	森と木のエンジニア科					
					0575-35-2529						
	静岡	静岡県立農林大学校（本校）	438-8577	磐田市富丘678-1	0538-36-1564	総合技術専攻（林業専攻）	平成26年度に林業専攻廃止				
					0538-34-4445						
					静岡県立農林大学校（林業分校）			434-0015	浜松市浜北区於呂4034-5	053-583-3523	養成部林業学科
										053-583-3523	
近畿	京都	京都府立林業大学校	629-1121	船井郡京丹波町本庄土屋1番地	0771-84-2401	森林林業科					
					0771-84-0797						
中国	島根	島根県立農林大学校	690-3405	飯石郡飯南町上来島1207	0854-76-2100	林業科					
					0854-76-2103						
合 計			6校								

北海道森林づくり基本計画の概要

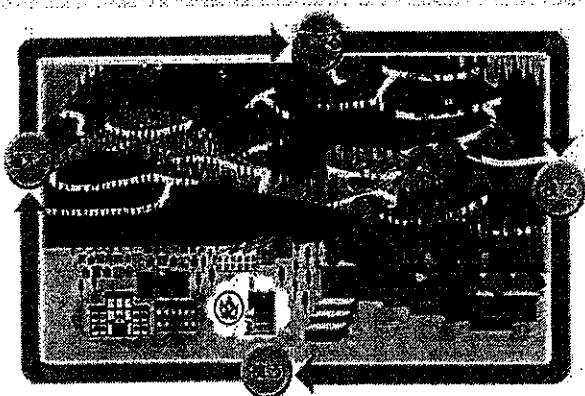
1 本道の森林・林業・木材産業の現状と課題

利用期を迎えた人工林（カラマツ8割、トドマツ6割）

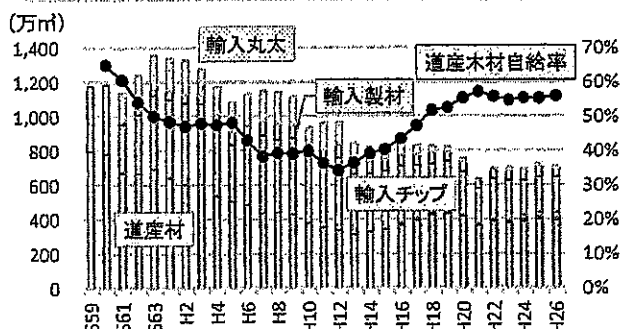
(千ha) 針葉樹人工林齢級別面積（全道）



進みつつある森林資源の循環利用



木材需要量と道産木材自給率



【現状と課題】

○森林資源・木材需給の状況

- ・戦後植林された人工林が利用期を迎えている
- ・道産木材の自給率は6割近くまで上昇

○林業・木材産業に対する期待の高まり

- ・CLTや木質バイオマス利用など新たな木材利用が進展

○林業事業者及び林業労働者の状況

- ・林業労働災害の発生頻度は、他産業に比べて高い状況
- ・造林や種苗など森林づくりの担い手不足

○道民理解の醸成等

- ・森林づくりなどに対する関心の高まり

北海道森林づくり条例の改正(H28.3)

「森林資源の循環利用の推進」、「木育の推進」を柱に条例改正

2 計画の基本方向

北海道森林づくり条例の基本理念

地域の特性に
応じた森林づくり

林業及び木材産業等の
健全な発展

道民との協働による
森林づくり

条例の基本理念を踏まえつつ、
新たに2つの基本方向を設定

施策推進の基本的な方向

森林資源の循環利用の推進

「植えて、育てて、伐って使って、また植える」のもと、
計画的な森林の整備・保全を進め、森林の持つ多面的
機能の発揮と林業・木材産業の健全な発展を実現

下支え

木育の推進

企業やNPOなどの民間、教育関係機関など多様な
主体と連携した木育活動に加えて、子育て世代や森
林への関心の薄い層などへの木育活動を進めること
により、道民との協働による森林づくりを実現

3. 主な施策の推進方向

(1) 森林資源の循環利用の推進

着実な再造林

「また植える」取組である伐採後の着実な再造林を実施

- ・市町村の林地台帳の整備・活用に対する支援
- ・クリーンラッチなどの優れた苗木の増産、民間採種圃整備に対する支援
- ・造林、下刈りに係る作業の効率化・軽労化
- ・エゾシカなどによる森林被害への対策

原木の安定的な供給体制の構築

森林施業の低コスト化の推進などにより、計画的な伐採を進め、木材供給力を向上

- ・森林施業プランナーによる森林施業の集約化
- ・高性能林業機械と路網の組み合わせによる作業システム導入促進

林業事業体の育成

森林づくりを担う人材の育成・確保や経営体質の強化により林業事業体を育成

- ・労働安全衛生管理に努める健全な林業事業体を育成
- ・地域の関係者が参画するネットワークづくりによる造林等の人材の育成・確保
- ・経営改善セミナー実施などによる林業事業体の経営力の向上
- ・林業大学校など人材育成機関の設立に向けた検討

地域材の利用の促進

様々な分野で地域材の需要拡大・創出
木材加工流通体制の整備

- ・道産CLTの需要の創出と供給体制の整備
- ・公共建築物の木造化・木質化や民間事業所等への普及促進
- ・木質バイオマスのエネルギー利用の促進
- ・生産規模に応じた加工・流通体制の整備



造林作業の
軽労化検討会



高性能林業機械による
低コスト林業



農業高校生に対する
業界セミナー



道産CLTによる
モデル施設

<長期指標>

■育成単層林・育成複層林・天然生林別の森林面積

木材の安定供給など森林の多面的機能の発揮を図るため、森林を3つに区分し、誘導していく目標面積を設定

■森林づくりに伴い産出され、利用される木材の量

道民生活への木材・木製品の定着を目指すため、木材利用の目標量を設定

区 分	H27	H48目標
育成単層林	1,434千ha	1,345千ha
育成複層林	709千ha	840千ha
天然生林	3,398千ha	3,356千ha

396万m³(H26) ⇒ 600万m³(H48)

(2) 木育の推進

木育マイスターと連携した木育活動

- ・木育マイスターの育成・指導力の向上を図り、ニーズにあった木育活動を実施

子育て世代とその子どもに対する木育活動

- ・児童・生徒の夏休み期間に道民の森等を活用し、重点的な木育活動を実施



森林や木材とのふれあいの機会の確保

<長期指標>

■木育に関心がある道民の割合

道民への木育の浸透を図るため、関心のある道民の割合を目標として設定

40%(H28※認知度) ⇒ 80% (H48)

森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を加速

「北海道における林業労働力の確保の促進に関する基本計画」の概要について

第1 基本計画策定の趣旨

北海道では、「林業労働力の確保の促進に関する法律」第4条に基づき、国の基本方針に即して、基本計画を策定し、これまで、林業労働力の育成・確保を総合的に推進してきた。
 現行の第3期基本計画が今年度で終了することから、情勢の変化を踏まえ第4期基本計画(計画期間:平成24年度～平成28年度)を策定する。



第2 林業における経営及び雇用の動向

林業経営・雇用の動向

- 林業労働者の増加・・・H17年度調査を底に増加
3,785人(H17) → 4,186人(H21) [+11%]
- 通年雇用者が増加・・・林業労働者数に占める割合が3割超
22%(H17) → 34%(H21) [+12ポイント]
- 若年労働者の増加・・・39歳以下の若年労働者が増加
21%(H17) → 26%(H21) [+5ポイント]
- 就労日数の長期化・・・就業日数210日以上の割合が5割
41%(H17) → 49%(H21) [+8ポイント]
- 認定事業主数の増加・・・雇用管理の改善等に計画的に取り組む事業主が増加
108事業体:27%(H17) → 172事業体:40%(H21)
[+13ポイント]

課題

- 高い高齢者比率
60歳以上の森林作業員が3割を超える
- 新規参入者の定着
新規参入者の年度末の離脱が3割
- 素材生産性の向上
7.50m³/人日(H17)→7.43m³/人日(H21)
- 林業労働災害の発生
H22年から死亡事故が多発
H21(1件)→H22(14件)→H23(7件)
※うち労災認定はH21(1件)H22(11件)H23(5件)
- 人工林資源を中心とする道産材の安定供給
低コスト作業システム等に対応する人材の育成、
林業労働者のキャリア形成支援

第3 林業労働力の確保の促進に関する基本方針

雇用管理の改善

- ◆雇用管理体制の充実強化
- ◆就業条件の整備等

事業の合理化の促進

- ◆林業事業体の生産性の向上
7.4m³/人日(H21)→8.8m³/人日(H29)

新規参入の促進

- ◆新規参入の促進
538人(H20～22の3ヶ年)→
1,600人(H29までの10ヶ年)

第4 事業主が行う林業労働力の確保に関する目標

- 雇用管理体制の確立
- 労働条件の改善
- 労働安全衛生の確保
- 教育訓練の充実
- 熟練労働者の活躍の促進

- 生産性の向上と事業量の安定的確保
- ・低コスト作業システムを担う人材
(森林作業道作設オペレーター等)の育成
- ・提案型集約化施策を実践する人材
(森林施業プランナー)の育成
- 林業労働者のキャリア形成支援

- 新規参入者の確保
- ・就職相談等のガイダンスへの参加



第5 林業労働力の確保の促進を図るための施策

- 労働条件の改善
- ・休憩施設等の導入や安全確保・労働負荷軽減に資する機具・装具の開発・改良
- 労働災害の防止
- ・安全巡回指導の実施、リスクアセスメントの徹底、各種研修の実施、蜂刺さされに有効な自己注射の導入促進
- ・事業体の登録・評価の仕組みの活用
- 雇用管理の改善計画の認定及び推進
- ・雇用管理の改善等に計画的に取り組む事業主に対する支援

- 事業量の確保
- ・提案型の施策普及、森林施業の集約化
- 低コスト作業システムの導入促進
- ・森林作業道作設オペレーターの育成・確保
- 林業労働者の技術・技能の向上
- ・林業労働者のキャリア形成に繋がる段階的かつ体系的な研修等の受講促進

《林業労働者のキャリア形成》
 フォレストワーカー(林業作業士)→
 フォレストリーダー(現場管理責任者)→
 フォレストマネージャー(統括現場管理責任者)

- 新規参入の普及啓発
- ・就労希望者に対する迅速、的確な相談体制の充実
- ・ガイダンス等の開催
- 新規参入者の確保
- ・「緑の雇用」研修事業等の普及促進



第6 その他林業労働力の確保に関する事項

- 建設業等異業種との連携促進
- ・異業種との連携により、路網整備、間伐などの森林整備を推進

林業大学校設立検討

道議会で知事担い手対策で表明

定例道議会は2日、代表質問を行った。高橋はるみ

知事は林業の担い手不足対策について「林業大学校は即戦力となる担い手の育成や企業の経営力強化を図る上で重要な役割を果たしている。道としても、林業大学校などの設立に向けて早急に検討する」と表明した。

・道民連合の稲村久男氏(空知管内)への答弁。
林業大学校は実践的技術や安全対策を教える高等教育機関で、京都府や長野県など9府県にあり、2年課程を設ける例が多いという。道の林業労働実態調査によると、2015年度の林業従事者の平均年齢は50・2歳で、60歳以上が3分の1を占めており、若手の

人材育成が急務となっている。

知事はまた、公共交通網整備計画「道交通ネットワーク総合ビジョン」の対象期間が17年度に終わることから、外国人観光客の大幅増やJR北海道の鉄道事業見直しなどを踏まえた新たな指針を新年度に策定する考えを示した。

北海道電力泊原発(後志管内泊村)での厳冬期訓練に関しては「秋の大規模訓練を厳冬期に実施するなど、より地域特性を踏まえた訓練になるよう検討す

る」と述べた。国と道は今などで行ったが、規模が小年2月に訓練を同原発周辺さく、実効性を疑問視する
声が上がっていた。

29. 3. - 3 北海道新聞朝刊

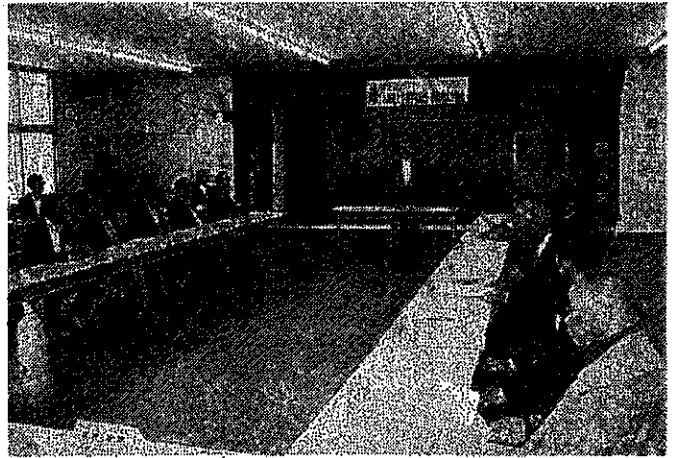
29. 6. 14 第17回
芦別で官民一体で

道立林業学校誘致へ

期成会
総会 本州の先進地を視察

【芦別】芦別市道立林業学校設立・誘致期成会総会が5日、商工会議所で開かれ、道立林業試験場との連携や岐阜、三重、兵庫などの先進地林業学校の視察への林業学校誘致の意欲などを盛り込んだ今年度の事業計画を決めた。

同期成会の坂田憲正会長は「昨年1年間、先進地林業学校の視察を行い、さらに芦別市への林業学校誘致の意欲を強くした。芦別市以外での誘致機運もあるようだが、しっかりと進めていきたい」。また、相談役の萩原貢市長も「官民一体となつて設立・誘致に取り組んでまいりたい」とあいさつした。平成28



本年度の事業計画を決めた期成会の総会

年度事業計画や収支決算などを報告し、本年度事業計画を決めた。今月中にも美瑛市にある道立林業試験場と連携を図り、7月初旬にも岐阜や三重、兵庫にある林業学校を視察した上で空知管内市町村を訪れ、誘致の趣旨を説明し、管内での誘致機運を盛り上げたいと考えた。

8月には旭川市、富良野市とも誘致説明と林産試験場との連携を図りたいとしている。

9月には、市民向けの誘致セミナー開催を予定。11、12月には京都府綾部市・山崎市長を招き「地方創生『水源の里』シンポジウム」の開催を計画しているが、これに先駆けて秋田や岩手、山形といった先進地の林業学校を視察する計画だ。

【野村博】

H29. 6. 24 第18回

林業大学校設立へ 有識者検討会設置

高橋はるみ知事は23日の道議会一般質問で、林業の担い手不足の対策として、設立を検討している林業大学校などの人材育成機関について、「有識者による検討会を早急に設置する」と述べた。

検討会での議論を経て、具体的な教育課程や運営体制、施設などの基本的な考え方を年内にまとめるという。

自民党・道民会議の東国幹氏（旭川市）への答弁。道は近く、企業や地域が求めている人材に関する調査を行う。

道立林業大学校の誘致への取組について

1 道立林業大学校の市政との関わりについて

●びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）後期基本計画

(4) 観光・交流

【移住・定住の推進】

住宅の新築や中古住宅を購入した転入者への助成の継続及び短期滞在「ちょっと暮らし」事業を継続するとともに、地方での農業体験や就業を希望する都市部の若者や子育て世帯、シニア層などを対象に、SNS＊を活用して、食・観光、医療、子育て、雇用など、市政情報の発信を行い、移住定住の促進に努めます。

(9) 芸術・文化・生涯学習

【生涯学習活動の充実】

市民の皆さんの多様で旺盛な学習意欲とライフスタイルの変化に応えるため、大学等との連携による学習機会の充実と時代状況に応じた内容の選択や拠点となる施設の検討を進めるとともに、ICTの活用などを含め、サークル・団体間の情報交換や交流を促進します。また、学んだ成果を自主的、主体的な活動として、まちづくりなどに生かしていく仕組みを検討していきます。

(13) 環境行動

【環境意識の高揚】

市民一人ひとりが身近な地域や地球規模の環境について理解を深め、環境を大切にする行動がとれるよう環境学習を推進します。

市民が環境に対する意識を高め、環境保全活動へと結びつけるために、環境に関する情報を収集し、これらの情報が市民や事業者に有効に活用されるよう情報提供を充実させます。

(16) 景観・緑づくり

【森林保全と活用】

森林効果や多面的機能を理解してもらうため、市民が森林を体験し身近に感じる機会の充実を図ってまいります。

また、私有林の伐採後の植林活動を北海道と共に支援し、適正な保全管理を行うことで森林面積の維持に努めます。

地球温暖化防止に向けた取り組みについては、個人や団体による環境貢献活

動の必要性を唱え、美唄市森林整備計画に基づく森林の保全と植樹の推進に努めます。

(24) 雇用対策

【雇用環境】

企業誘致活動や地域資源を活用した産業の6次化に向けた取り組みを戦略的に取り組むとともに、女性、若者、シニア世代の就労の場の創出に努めながら、若者の雇用や優秀な技術を有するリタイア世代の再就職支援を図るため、事業主に対して、国の雇用奨励助成制度や道の雇用支援制度、市の人材育成支援制度の活用について、積極的にPRするとともに、実習生の受入や実際の地場企業の経営者による講演会の実施について、積極的に働きかけ、次の世代を担う子ども達の職業観の育成や起業意欲の醸成を図ります。

●美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【基本目標2 地域資源を使って新しいひとの流れをつくる】

(ウ) 移住・定住の促進等

市外から移住した方に対し、住宅等の購入費用の一部を助成するほか、二地域居住の可能性や菜園付住宅の提供など、移住者のニーズを踏まえた特色ある居住環境の提供について検討を進めるなど、定住人口を増加する取組を進めます。

また、関係団体や民間企業、本市と連携協定を締結している道央圏の3大学と連携しながら、スポーツ・芸術の文化などの合宿について誘致を進めるとともに、地域インターンシップのプログラムを共同で開発し、大学の授業カリキュラムへの導入を図るほか、北海道が主宰する空知管内広域による結婚支援広域連携促進事業への参画とともに、市内で開催される婚活イベントに対する支援等を実施します。

2 道立林業大学校が誘致された場合に市や市民への利益等の可能性について

- ① 既存施設(土地・建物)の活用の際には、公共施設等の利活用が図られる。
- ② 校舎・寄宿舍の建設に伴い、建設業の受注件数が増加する。
- ③ 若者や教職員の移住者が増加する。
- ④ 民間アパートの活用が図られる。
- ⑤ 通勤(教職員)・通学(学生)により、JR利用者が増加する。
- ⑥ 新たな消費による地域経済の活性化
- ⑦ 公開講座などによる市民の学習環境の向上が図られる。
- ⑧ 関連産業への波及効果が図られる。
- ⑨ 若者の移住により、まちの活性化につながる。
- ⑩ 上・下水道料金などの公共料金収入の増